

授 業 科目名	セミナーⅡ 教養演習（情報通信技術）	※選 択	開講年次	2	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブ タイトル	情報通信技術（ICT）の利活用	担当者	宝剣 純一郎			
講義概要	<p>【概要】 私たちが操作あるいは利用しているコンピュータやインターネットに関わる情報通信技術の学習に取り組みます。コンピュータのハードウェアあるいはソフトウェア、インターネットを対象に課題を課し、学生諸君はレポートを作成・発表あるいは演習を行う形式で授業を進めます。</p> <p>【到達目標】 コンピュータやネットワークに関する知識を修得し、操作能力を養うことが目標です。具体的な目標は、学生諸君との話し合いで決めますが、例えば資格試験に合格するといったことも想定できます。</p>					
履修条件	なし					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】 授業開始後、必要に応じて指定します。</p> <p>【参考書】 授業開始後、必要に応じて紹介します。</p>					
授業内容	<p>取り上げるテーマに関しては学生諸君と相談の上決定します。</p> <p>過去のテーマには、「プログラミング」や「高度な Web ページ作成」などがあります。「プログラミング」で取り上げた言語は、「C」、「JavaScript」、「VBA」などです。本学のカリキュラムでは明示的に「プログラミング」を掲げる授業科目がないことから、プログラミングの基礎からスタートすることになります。まず、演習問題に取り組むことでプログラミング言語の文法や PC 上でのコンパイル、実行、デバッグ作業方法を学びます。次に、応用レベルの演習問題に取り組みます。応用問題では、ベースとなるソースプログラムをもとに自分の視点で修正・改訂を行います。</p> <p>「高度な Web ページ作成」では、例えば HTML の Frame タグあるいは CSS(Cascading Style Sheet)を利用することで、実用に供せるようなレベルの Web ページを作成します。Frame タグは、表示画面を分割する機能を提供するタグで、柔軟な画面レイアウトを実現できます。CSS は Web ページの属性を一括して定義します。HTML で定義されている属性タグと同様の定義に加え、よりきめ細かな属性を定義することができます。</p>					
評価方法	レポートおよび発表の内容、課題提出、授業への参加態度などで評価します。					
評価基準	上記授業内容について、よく理解し、適切にレポートや課題を完成させた者には「A」、理解してはいるが、一部理解に不十分な箇所がある者については、その程度に応じて「B」または「C」とします。授業内容の理解自体が不十分な者については、その程度に応じて「D」または「E」とします。					
その他	※E カリキュラムの学生は選択必修科目					